

1. 保育の計画 (H29年度)

- 評価・反省
- ・保育の計画や活動を週末には次の週のことをイメージして必要な物等は準備しておく、もののいざ子どもの前に立つと説明不足になってしまったことがあった。
 - ・壁面や行事前には期待や意欲を持てるような視覚的なものを作ることが出来た。
 - ・子どもたちにとって最適な環境構成を心掛けましたが、あまり用意出来なかった。
 - ・指導計画では、必ず毎週末に話し合う事が出来ない事がありました。
 - ・子どもが楽しく意欲的に参加するためには・・を考え、活動を計画することが出来た。
 - ・早めに計画したが活動に追われてしまうこともあったため、見直しが必要だと思った。
 - ・私自身、壁面が変わるので楽しみに登園していたので（幼稚園時代）子どもたちが心温かくなる壁面になるようにしている。
 - ・園の教育目標を理解し、園の素晴らしい自然環境を保育に生かし活用して、体と心の発達に繋がるよう日々努めています。
 - ・雨に日には外せる扉を活用しあ店屋さんごっこをしたり、晴れの日にはお山でダイナミックに駆け回って遊んだり、伸び伸びと心を開放し遊び込める様務めてきました。
 - ・子ども達が楽しく友だちと関われるよう日々保育内容・環境を考え設定できたと思う。
 - ・子どもが積極的に活動できる環境を心掛けています。更に過ごしやすい環境づくりに努めます。
 - ・学年間で話し合い、常に他クラスとの状況や様子を把握しながら保育することが出来た。

(お助けマン)

- ・保育補助として入っているクラス担任と話し合ったり、環境構成や保育についての計画を元に考察することが出来た。
- ・直接保育計画の作成に携わることはなかったが、担任から長期的・短期的又は行事を見据えた計画を聞き理解しながら保育補助に臨んだ。
- ・担任を持っていないので直接指導計画の作成に携わっていないが、前段階でこうした方が・・・などと話し合っています。預かり保育の環境は常に考えています。
- ・園の教育理念や方針は時々忘れててしまうので、意識を持って覚えておきたい。
- ・園庭清掃など環境については、日々点検整備に努めている。
- ・園庭の草取り・側溝掃除など、園庭の環境整備に努め子どもたちが安全・安心して遊ぶことが出来る環境作りを心掛けている。又、トイレに園庭の季節の花を飾り、色々な場所で季節を感じることが出来るように心掛けている。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・美しい紅葉を楽しみ園内で木切れを拾いクリスマスツリーを作った事が子供たちの心に思い出として残ったようです。同様に子どもたちと来年度も相談して、考え・工夫し・助け合って夢中になれる活動やアイディアを出して発展させる遊びを存分に取り入れていきたいです。
- ・計画の見直し、計画のタイミングの調整。

- ・よりこどもたちの発達に適した環境づくりを心掛ける。
- ・子どもが主体となって遊びを展開する為の材料や環境が乏しかった為、来年度は様々な粗大を用意したり、環境を設定していく。
- ・教育要領をしっかりと念頭に自分の保育に生かしていきたい。
- ・引き続き、学年間での連携をしっかりととっていきたい。
- ・保育の計画を立て進め方をイメージした後に、先輩の先生方だったらどのように進めるかなどアドバイスをもらい、生かす。
- ・時間を調整し、次の週の内容をメモし流れを把握したうえで、計画が充実するよう自分からもっと声を掛け進めていけるよう心掛ける。

(お助けマン)

- ・保育補助として客観的に子供たちや保育者の動き、それに伴う必要な環境構成などを見ることが出来た。これを生かして保育計画をしていきたい。
- ・引き続き保育を計画した担任の思いを汲んでサポートしていく。
- ・お預かりの部屋が図書室もかねている為、華美には出来ずいつも落ち着ける空間作りをモットーとしています。
- ・定期的に理念を確認する。引き続き環境整備をしていきたい。
- ・園の教育理念や幼稚園教育要領は定期的に目を通し、常に頭においておく。

2. 保育の有り方・こどもへの対応

(H29年度)

- 評価・反省
- ・子ども一人ひとりを把握しその子における周りの状況も、把握するよう努めた。
 - ・怪我等、連絡事項の伝達漏れにきをつけた。
 - ・私にとって子どもたちは宝物です。どの子も一人ひとり愛情を持って関わるよう日頃から朝の視診をし体調把握にも努めています。
 - ・保育者の一つ一つの言動が子ども達に伝播していくので、素直な心・丁寧な言葉・落ち着いた態度で公平・柔軟に対応するよう心掛けている。
 - ・子ども一人ひとりに合った支援を常に、出来るようにしたいです。
 - ・その子に合った関わり方をもっと、理解していかなければいけないと思う。
 - ・友達とのトラブルでできた傷を見落として降園させてしまった事があり、反省。
 - ・否定的な言葉を出来るだけ控え、子どもの意欲や自信となるように、一人ひとりの良いところを見つけ褒めるように心掛けた。
 - ・子ども達が登園から降園まで、怪我無くすごせるように心掛けた。
 - ・言葉掛けは、活動の説明時に子どもたちには分りにくいくらい言葉を使ってしまったことがありました。
 - ・子ども達の興味については、自分から遊びに入れずにいる子に対して、スキンシップを取ることしかできなかつたことを反省しています。
 - ・子ども同士の関りに変化が見られるのが年長。言葉や行動など、関わりが良いものになるよう注意してみていた。

(お助けマン)

- ・子どもの気持ちに共感する言葉遣いを常に心掛けている。
- ・保育補助の立場上、個々の子どもと接する時間は比較的有るので、その特性を生かし今、どの子供にどんな援助が必要なのかを見極め、子どもが安心できる環境を整えられるよう努力した。
- ・一人ひとりの園児のことを把握できていないので、出来るだけ関わるように努力していきたい。
- ・個々の子どもの発達の姿や課題についての見通しがしっかりできていない。
- ・小さな怪我も直ぐに園長に報告し、対応を担任に伝えることができた。
- ・今年度からミーティングノートを活用することで、ミーティングに参加できない職員も、子どもの情報を共有することに役立っている。

反省を基に来年度改善・実行すること

- ・来年度は異年齢の関わりを増やしたい。
- ・異年齢でのドッヂボール対決や遊びを交流として取り入れていく。又、園庭の畑への植えつけ、栽培、収穫、調理も引き続き続行し、生きた食育を進めたい！
- ・個々に合った声掛け、支援えお心掛ける。
- ・縦、横の繋がりを持てるようリレーやドッヂボールなど集団遊びを増やしていきたい。

- ・慌ただしい中でも視診を怠らず、保護者の方々に心配をかけないよう気をつけていきたい。
- ・トラブルの場面でも、一旦は子供の気持ちを受け止めて「この人なら自分の気持ちを分かってくれる」と信頼でき、何かにつまずいたときの安全地帯のような存在になれるようになる。
- ・子供たち一人ひとりに合った言葉を選び、言葉がけをコミュニケーションをとっていきたいです。
- ・保護者の方に今以上に話をしたり、連絡帳、手紙を活用して連携を取っていきたいです。子供に負担をかけないようにしていきたいです。
- ・「危ない」という前にどのような行動をする子か考えてから自身で安全を意識していく行動をほめ、どういう行動が安全か気づける言葉かけをしていきたいです。

(お助けマン)

- ・引き続き「共感」を心掛けたいです。
- ・チームティーチングを行う中で、役割分担として声を掛け合い明確にすることで子供の見落としがないよう留意する。
- ・各クラスに行った際には、声掛けを心掛けコミュニケーションを図るようにする。
- ・担任より細かい個々の子供の様子を知るようにしたい。
- ・小さな怪我もきちんと保護者に伝えることで信頼関係につながると思うので、今後も常に、安全に気を配りながら怪我が発生した時は報告に努めたい。
毎朝、ミーティングノートのチェックを忘れず行い、子供の情報を確認する。
自分自身も連絡事項は、ミーティングノートに書き込み、保育者同士の連携に努める。

3. 保育者としての能力・良識・適正

(H29年度)

評価・反省

- ・服装や表情、身だしなみには特に気を付け、常に明るくを心掛けた。
- ・職員同士で声を掛け合い、話し合いや相談もできた。
- ・プライベートはおかげさまで心豊かな生活ができているので、自分自身、素直で謙虚で公平に努めるようにしている。
- ・健康管理は特に気を付けている。
- ・良識ある行動を心掛けて過ごせたと思う。
- ・うがい、手洗いを心掛けていたものの風邪をひき、声がでなくなってしまった。会議や反省会などで自分の思ったことがあっても消極的になってしまった。
- ・保育者であることの自覚から体調管理を徹底していく。
- ・保育者としてしつかり意識をもって、行動するように心懸けている。今後も自覚をもって取り組む。
- ・クラス内の整理整頓が行き届いてない時があった。
- ・

(お助けマン)

- ・外来者、保護者への明るい挨拶を心掛けた。
- ・時間を厳守できない時があった。
- ・水曜の放課後等、時間に余裕のあるときに、念入りに清掃を行った。
- ・社会人、保育者としてのモラルに気を遣うようにしている。
- ・引き続き保育者として見本となるよう努力していきたい。
- ・職員室にて保育の話から私語につながってしまう時があった。
- ・事務員として、保育者、子供、保護者との関係がより良くなるよう心掛けている。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・自分だけでなく周りの人が明るくなれる、そんな園を保育者をはじめとして作っていく為に自分の意識をもっと高める。
- ・意見を出し合い、より良い職場環境を作り子供たちと関わっていきたい。
- ・とにかく提出物に関して、抜けることの無いよう手帳にしっかりとメモをする。
そして、すぐにやること！を心掛け実行する！！
- ・保育者（先生）であることを常に心に持ち行動する。
- ・引き続き保育者として人として良識ある行動を心掛けていきたいと思う。
- ・大事な行事の前に声を枯らしてしまうことが今年はあったため、気を付けたい。
- ・自分の考えをもう少し積極的に発言する。
- ・意見を出し合いより良い職場環境をつくり、子供たちと関わっていきたい。
- ・クラス内を常にきれいに保ち、気持ちよく過ごしていけるようにしたいです。
- ・立年度け1年目にかかってからレポートができます先書けたれストラテ

頑張ります。

・今までの自分の健康をおごらず、食生活にも気を配っていきたい
(お助けマン)

- ・常に5分前行動を頭に置き、余裕をもって行動できるようにする。
- ・引き続き清掃や整理整頓については、常に目を配り気づいた時に出来る範囲で行い、環境整備に配慮していく。
- ・保育者としての在り方に気を遣い、保育者間の関係性もより良いものになるようにしていきたい。
- ・常に保育者としての生活態度を意識し保育に努めていきたい。
- ・保育の話のみするように心がけます。
- ・先生方に信頼して頂けるよう、あらゆる面で努力したい。

4. 保護者への対応 (H29年度)

評価・反省

- ・クラスだよりにて子供たちが行っていることを出来る限り伝えたり、個々で連絡帳に頑張っていることを記入することで子供たちの様子を保護者様に知ってもらえたように感じました。保護者様から感想や家での様子を伝えて頂きました。
- ・保護者様からの要望や意見・クレームがあった時は、園長先生や他の先生方とも情報共有し、電話や連絡帳で密に連絡をとり、現状とどのように対応しているか伝える事が出来ました。
- ・何かあったらすぐに連絡し、信頼関係を築くことを大切にしている。
- ・どの保護者の方にも公平となるよう、けじめをつけた対応が出来た。
- ・保護者からの伝達は全て園長先生に伝え、必要な情報は常に共有していた。又、言葉遣い、対応に分け隔てないかの公平さは意識していた。
- ・保護者様と信頼関係を築いていけるように努めたつもりです。送迎の伝え漏れなどがあったので気を付けたいです。
- ・保護者対応をもう少し頑張りたいと思う。自分の生活に余裕をもってクラスだよりを書きたい。
- ・気になった点や保護者が気にしている点などを、様子を見て連絡し信頼関係を深めていけるよう心掛けた。
- ・今年度は掲示板・ブログ等、行事があった際には記事を出すことが出来た。

(お助けマン)

- ・子どもの様子や成長を、お迎えに来た際など直接保護者に伝えるよう努めた保護者からの伝言は、直ぐに園長や担任に伝えた。
- ・保護者と直接話す機会は少ないが、連絡帳や担任を通して得る情報は常に把握するよう心掛けた。
- ・保育補助であるものの、保護者への対応については責任をもって行うようにしていた。
- ・保護者には謙虚に平等に接することをこれからも心掛けしていく。
- ・毎日元気よく笑顔で丁寧に挨拶してきた。クレームの場合は落ち着いてゆっくり話すよう心掛けた。
- ・職員室での電話の応対が主であるが、的確に内容を理解し伝え保護者に不安を与えないよう心掛けている。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・より記事を見てもらえるように、クラスだよりもひとつ写真を入れるなど、見ても楽しいものにしたい。
- ・子どもの様子を保護者に向け、積極的に発信していきたい。
- ・ブログやクラス便りで、来年度も子どもの姿をよく伝えられるよう努めていきたい。
- ・信頼される保育者を目指し、保護者との関わりも密にとっていきたい。
- ・今年度同様に活動についてなど、保護者様が気になるだろうことを伝えていけるよう心掛けていきたいです。

- ・引き続きどんなことでも連絡・報告・相談をして対応策をしつかり考え、現状をお伝え出来る様にする。
- ・言葉遣いを丁寧に、より明るい挨拶を。
- ・来年度も引き続き保護者への公平さを頭にいれていく。
- ・保護者様とより信頼関係を築いていけるようにしたいです。
メモを取り、確実に情報を伝えられるようにしたいです。

(お助けマン)

- ・保護者からの依頼や伝言の際は、必ずメモを取り的確に伝え忘れが無いよいうにする。
- ・来園して顔を合わせた保護者には、なるべく声を掛け子供の様子をエピソードを交えて伝える等して、信頼関係を築いていく。
- ・クラスの様子を保護者へ発信することを大切にし、園と家庭での連携をもてるようしたい。
- ・引き続き現状を維持し、信頼されるよう努力したい。
- ・笑顔でゆっくり穏やかに話をする。
- ・事務員とはいえ保護者の方から見ると保育者の一人として見られていると思う為質問等、時々受けることがあるので保育の勉強をすべく少しづつ本をよんでいるが、日々なかなか時間がとれない。しかし努力は続けていきたい。

5. 地域の自然や社会との関わり

(H29年度)

- 評価・反省
- ・園のしおりはしっかりとみて理解している。又、4つの柱となる教育目標も意識して保育に努めている。送迎コースで出会う地域の方にも積極的に挨拶をし、園の良いPRになるよう心掛けている。
 - ・新しくクラスに入った子や来園者に対し、クラス全体で明るく迎えることが出来た。
 - ・年長は地域の方との関わりが多く、良い経験だと思う。
 - ・電話などの対応の時に直ぐに対応が出来ず、手間取ったことがあります。
 - ・来訪者や電話対応で自信をもって答えられない内容もあった。
 - ・問い合わせがあった場合的確に答えられず、不安になってしまう時があるので、しっかりしないといけないです。
 - ・徒歩コースでは、こどもと共に挨拶するよう心掛けた。
 - ・他学年の行事や持ち物等まで把握出来ておらず、その場で便りを確認し答えることがあった。
 - ・質問に対して答えることが出来ない時があった。

(お助けマン)

- ・送迎時に会った地域の方々や園の見学者の方に積極的な挨拶と会話を心掛けた。
- ・園に対する問い合わせには安易に答えず、担当者に引き継ぐようにした。
- ・見学者へ対応することが多かったが、その都度質問にも応える事が出来たと思う。
- ・地域の方にも開かれた幼稚園として、明るく接するようにしていく。
- ・挨拶・対応は丁寧に出来た。
- ・地域の方々あっての園であることを、常に心掛けている。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・園周辺の詳細を調べ地域の公園や施設などもっと積極的に出かけ、自然の造形の美しさや驚き・発見に繋げていきたい。そこで地域の方々と関わり見守られ支えられている安心感を持ち、人と関わる温かさを感じられる子どもの心を育んでいきたい。
- ・明るく来園者を迎えることは出来たが、直接話す機会が無かった為現場を

6. 研修と研究(H29年度)

評価・反省

- ・研修に参加することで得られる知識や技術を自分の保育に活かせるよう心掛けた。クラスの隅にスペースを設け、子どもたちがほっと出来る様にした。又、支援を要する子に対しての関わりや必要な支援と設定は研修で学んだからこそ意識でき、参加させて頂き、とても感謝している。園長先生ありがとうございます。
- ・研修報告等で得た保育の知識を、日頃の保育に活かそうと努力した。
- ・今年度、自分が公開保育を行うことはなかったのですが、研修を活用しクラスの子どもの対応を確認することが出来ました。園内研修（公開保育）を見る中で、自身ならどうするべきか、考察できました。
様々な教材を作ったり、体を動かす遊びを学んだ後、保育に取り入れることが出来ました。
- ・研修での学びを自分の知識にしていけるように、努力が必要。
- ・園内での研修が今年度は始まりが遅くなってしまった。研修担当でもっと早い時期から話し合うべきだった。
- ・なかなか研修に行ける余裕が無かったことが反省です。自分の保育を良くしていく為にも、参加していかないといけない。
- ・今年度はあまり研修に参加しなかったので報告会での話、報告書にはしっかりと目を通し自分の知識として学べるようにした。
- ・自分のクラスにおいて、支援が必要と考えられる子に関する研修に参加することが出来、またその子の対応策や解決策を知るために率先して公開保育を行うことが出来た。
- ・研修に参加できたことによって、学んだ事がたくさんありました。「これなら私にも取り入れることが出来る」と思うことは積極的に取り入れようと心掛けました。

(お助けマン)

- ・休日の研修に自主的に参加することは難しかった。研修報告書にきちんと目を通して分からぬ所はそのままにせず、質問するようにした。
- ・救急法の講義を受ける中で、日頃保育で知りたかったこと等、積極的に質問することで内容をより自分のものにすることが出来た。
- ・研修で学んだことを自分なりに活かせるよう意識を向けることが出来た。専門書や雑誌を読むよりも、同僚や先輩に助言を求めるばかりになっていた。
- ・これからも積極的に研修に参加していきたい。
- ・いろいろな研修に出席することが出来た。今の保育の在り方はどうなのか、日々悩んでいます。
- ・園にお世話になり早1年。事務としての知識を得ることを中心に努力してきました。しかし保育の知識はほぼ0なので、少しづつ知識を得たいと思っている。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・研修により多く参加し自分の意識や技術の向上を図り、マンネリ化しないよう自己研鑽していきたい。

よく知つて貰う為に、会話も時には交えたいと思う。

- ・お年寄りの方を労わる気持ちを子供たちが持てる様、まず自分が実行できる様にする。
- ・他の学年の行事・詳細の把握までは難しくても、出来るかぎりの事は、伝えられるよう、記憶し行事をチェック・確認するようにしたいです。
- ・園の行事や活動の詳細・日時・また他学年の活動についても、きちんと把握し即座に対応できるようにしていきたい。
- ・すぐすぐ教室は毎回楽しく行なうことが出来ているので、今後も楽しく元気に行っていきたい。
- ・問い合わせには的確に直ぐ答えられるように、配布物には必ず目を通して同学年だけでなく他学年の行事も把握するよう心掛ける。
- ・どんな質問にも正確に答えることが出来るように配布物の読み込みなどをしていきたいです。

(お助けマン)

- ・園の見学者に対応できるスキルを伸ばしたい。
- ・保育中、園外に出た時は積極的に地域の方々に関わり、園を取り巻く自然や環境に敏感になるよう努力する。
- ・引き続き園外の方との関わりを大切にし、地域の子育て支援をしている一員であることを心に留めておきたい。
- ・志都呂幼稚園の伝統に恥じないよう意識を持って、地域の方々と関わっていきたい。
- ・すぐすぐ教室で何か出来る事が有れば参加したいです。
- ・自然の中にある園があるので安全を考えつつ、園庭の自然を戻したい。
園長先生と相談しながら出来たらと思う。

- ・来年度は自らもっと研修に参加し、より自分のスキルアップに繋がる活動を心掛けたい。
- ・子どもたちがやりたいと思える様な話し方・見せ方で今後も興味を持てる様な環境作りを考え、落ち着ける場も作るよう心掛けたいです。
その時のことにも合った教材を考え。、その都度一步進める様にしていきたいです。
(はさみ・紙・ボンド・テープ・ボール・鉄棒・マット)
- ・研修では一つでも多くの事を吸収したいです。
- ・早い段階で話し合い、1学期からゆとりを持って取り組んでいけるようにしたい。
- ・クラスの中で援助が必要な子に対して、積極的に相談や公開保育が出来ればと思う。
- ・報告会での話を基に、自分が出来ることを積極的に行えるようにしていく。
- ・研修で学んだこと、活かせることを直ぐに実行してみる。
- ・教材研究が「十分でなかったと思うので、教材室にある色々な材料に触れ、特性についても知り保育に活用していきたいと思う。

(お助けマン)

- ・研修に一つでも多く参加し、保育に活かせるように努力したい。
- ・アレルギーのアナフェイラークシーショックの症状や対応の手順等一時的に覚えていても時がたつと忘れてしまいがちである。定期的に確認することで常に対応出来る様にしたい。
- ・初心を忘れることなく、日々保育者としての自分を磨いていきたい。
- ・専門書や雑誌・また気軽に情報を得られるインターネットなどを積極的に取り入れていきたい。
- ・保育に正解はない・それが学びである・この言葉通り、常に学んでいきます。
- ・まずは保育の知識・事務として、職員の方たちが困らない知識・人としても信頼されるよう頑張ります。